

# 児童生徒が伸び続ける授業づくり

## 1 準備

### □授業改善3つのポイントの確認

- ・授業改善3つのポイントをもとに、1時間の授業を構成します。

#### \*\* 授業改善3つのポイント \*\*

- ① 見通しと振り返りを意識した授業
- ② 体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業
- ③ 言語活動の充実を図った授業

### □児童生徒の実態把握

- ・日頃の学習状況と各種調査の結果から、よい点や課題となる点を明確に把握します。

### □教材研究（ねらいの明確化）

- ・児童生徒がどこまで自力で解決でき、教師は何を教えなければならないのかを吟味し、ねらいを明確にします。
- ・1時間の授業の流れがわかるような板書計画を立てます。
- ・児童生徒の思考を助けるための教具を作成します。

## 2 見通し

### □意欲を高める導入

- ・本時の問題や課題を示す際に、児童生徒が課題を解決しようとする意欲を高めるために、生活との関連や既習事項との関連等を示します。

### □本時の課題を提示

- ・黒板に本時の課題（めあて）を提示します。本時に何を学習するのか明確にします。
- ・本時の振り返りにつながることを、意識して提示します。

### □構造的な板書（ICT機器の活用）

- ・児童生徒が、何をすべきか明確に把握できるように、課題を解決するために必要な見通しやヒント等を示すなどの工夫をします。
- ・板書は、児童生徒のノートにも反映されることを意識して行います。

### 3 学習活動



#### □思考の場・学び合いの場の設定

- ・児童生徒が主体的にじっくり考える場を設定します。
- ・友達との学び合いから、それぞれの考えの異同を整理し、自分の考えや集団の考えを発展させることができるような場を設定します。

#### □教師の意図的な発問（問うべき問い！！）

- ・児童生徒の思考を揺さぶる意図的な発問を行います。
- ・児童生徒の発表や発言で足りないところを補う発問を行います。

#### □適切な評価と個に応じた支援

- ・児童生徒の活動から形成的評価を適切に行います。つまづいている児童生徒に対しては、その場で課題を解決できるように適切に支援します。

### 4 振り返り

#### □課題に正対したまとめ

- ・本時の課題（めあて）がどう解決されたのか、「課題」と「まとめ」を正対させます。

#### □児童生徒のことばによるまとめ

- ・児童生徒の思考を整理し学習内容の確実な定着を図るために、児童生徒のことばからまとめていきます。

#### □次時につながるまとめ

- ・次時の内容について、紹介したり触れたりすることにより、学習意欲を喚起します。



「学力向上のための『授業改善ベーシック』グランドデザイン」は、南部教育事務所ホームページに掲載しております。  
様々なデザインがありますので、御活用ください。  
また、加工可能なデータも掲載しております。  
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/nanbu15.html>)

笑顔と誇り そして信頼  
13市町とともに  
全県に発信する南部教育事務所

